

1929

4

APR

土井畫伯個人展

ホノルル美術館で

布哇が生んだ若き天才畫家、

土井勇君の個人展覽會は、去

る二日からホノルル美術館で

開展されたが出品は三十點に

て油繪十數點の外に同氏得意

の別業木版畫も數點あり、油

繪は同氏が布哇へ戻つてから

描きしもので、ラワイ、カラ

ヘオ、ハナペペ、ハナレ、

ポートアレン、砂山等の風光

を見せ、又母の像の如き人物

畫も二三點含まれてゐる、木

版は『マウイと太陽』の布哇

傳説よりヒントを得し近作の

外に紐育時代に描きし舊作を

も加へて居るが孰れも本國的

明るさ、東洋的深さを巧く

コンバインした獨創的筆致を

見せホノルルの美術家をして

激賞の聲を放たせて居る、同

胞は是非此の若き畫家の作品

を見て置く必要がある、尙ほ

ホノルル美術館（ベレタニア

街トーマス公園向ふ側）の開

館時間は以下の通りである

日曜日	午後三時	六時迄
火曜日	午後二時	五時迄
木曜日	午後二時	九時迄
土曜日	午前十時	午後五時迄
時まで		

海軍軍令部出仕、海軍省高級副官、第一遣外艦隊司令官等に歴補して

今日に及

んでゐるが

明治三十年三十一一年頃の氏は、十代田艦の分隊長として乗り込んだ許りであつた。何こ云つても二十一歳云ふ若々しい紅顔の青年士官にて、これは又珍しいほご立派な風貌には、若し社交の爲め、遊びにでも行かうものなら、それこそ

ホール商會で 火事安賣

焼け燼
十

キング街とフォート街角のイ・オー・ホール商會が最近火災に罹り三十萬弗の損害を蒙

加藤二郎譯 講談社發行
最近刊 ハーバー
大結

四月 特 号

- △主婦之友
- △婦人世界
- △婦人俱樂部
- △婦人公論
- △婦人畫報

雜誌取次 小島定吉

電話三二二二 郵函一一六三